

---

# 薔薇姫物語

空音寺沙遊璃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

薔薇姫物語

### 【Nコード】

N1397Z

### 【作者名】

空音寺沙遊璃

### 【あらすじ】

平和の姫君、アリナ。アリナの恋の相手であり、彼女の忠実な僕シユード。わがまま王子レオン。

アリナがレオンの元に政略結婚として嫁ぐ事に！

その時、新たな歴史が刻まれる！

彼女の切ない恋は叶うのか――！

そして両国の運命は――！

## 平和の姫君

「アリナ様。ご出発の時間でございます。」

一人の若い青年が薔薇色の髪少女に呼びかける。

「ええ。今行くわ。」

「――今日私は愛する人と共に国を旅立つ。」

カトレリア国とドレナ国。

二つの国は争いが絶えなかった。

そのため両国は昔から互いの国の王子と姫を婚姻関係にさせていた。しかしその婚姻も長くは続かず国々はまた争いを始めていた。

それもそのはず。

カトレリア国には200年に一度、国に平和をもたらすといわれる薔薇色の髪をもつ姫君が生まれていたからだ。

――そしてまた薔薇色の髪をもつ姫君アリナがドレナ国に嫁ぐことになった。

「おめでとうございます、レオン様。」

ここはドレナ国の中庭。今は隣国から嫁いできた姫君のお披露目の真っ最中。

レオンと呼ばれた青年は笑顔で言葉をかえす。

「俺はこの薔薇の姫君を心から愛すると誓おう！」

そして隣の少女の髪にキスをした。

少女もまたほほえみ返した。

――少女の名はアリナ・ウォン・ベルデーブ。隣国、カトレリア国王の一人娘だった。そして彼女の隣に立つ無表情の青年の名はシユード。彼女の忠実な僕だった。

「ねえ、シユード。私はいつまでこの男の隣で笑っていなければいけないの？」

アリナがぼそつと言う。

「あともう少しの御辛抱でございます。」

「疲れたなあ。」

「ではこれを。」

シユードがそう言っ手渡したのはキャンディー。

「わっ！キャンディーだ！ありがとう！シユード大好き！」

そう言っアリナはシユードに抱きついた。

「喜んでいただけで光栄です。…が、アリナ様他の皆様の目があるのを忘れずに。」

「あ…。」

アリナがまわりを見渡すと周りの人々がこちらを見ていた。

「えっと…。」

弁解しようとしたアリナをレオン…つまり彼女の夫が制す。

「いやいや、我妻はよほど従者殿がお好きなようだ。俺は従者殿に負けてしまいかもしれないな。」

そう冗談を言った。

つられて重臣達も笑った。

「まったく公衆の面前でなんてことをしてくれる。王女なら王女らしくおとなしくしている。何が平和の姫君だ。この髪は飾りか？」  
そう言っレオンはアリナの髪を引っ張った。

## 平和の姫君（後書き）

はじめまして！空音寺沙遊璃と申します！

こんな未熟者の書いた小説でも読んでいただけたら嬉しいです！

これからよろしく願います！

## 私の好きな人

「痛っ…！なにするのよ！」

ここは城内の廊下。

「ふん。あまり変な真似をするなど言っているんだ。まったく、とんだ姫君をよこしてくれたもんだぜ。カトレリアの国王は一体何を考えているんだか。第一、お前もお前だ。」

そう言っレオンは振り返ってシュードを見た。

「自分のご主人様が抱きついてきたら普通止めるだろ。」

「まあまあ、レオン様も落ち着いて。」

重臣の一人がなだめる。

「落ち着けるか！」

そしてまたぶつぶつと言いだめた。

「…うるさい。」

「はあ？」

「うるさいって言うてんのよ！」

と、それまで何をされても口を閉ざしていたアリナが口を開いた。

「私の事ならまだしもお父様やシュードのことを馬鹿にするのは許せないわ！大体、私がいつ、どこで、だれに抱きつこうと私の勝手でしょ！あなたには関係ないわ！私はシュードが好きなんだから別にいいじゃない！まったく、私だってあなたなんかお断りよ。それこそお父様の命令でもない限りね！」

アリナはそう一氣にまくし立てると後ろにいるシュードを振り返った。

「行きましょ、シュード！」

「はい。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1397z/>

---

薔薇姫物語

2011年12月5日19時02分発行